



家庭科学習指導案

指導者 甲奴町立宇賀小学校
湯浅 康司

1.日 時 2001年 2月15日(木)

2.学 年 第5・6学年 8人

3.場 所 家庭科室、ランチル-ム

4.題 材 楽しいおやつ

「地方の名物を交流しよう」

5.題材について

おやつは、成長期の児童にとって 勉強や遊びの疲れをとったり、食事で不足する栄養分を補ったりする役目がある。またおやつを食べながら、家族や友人と楽しく団らんすることは、好ましい人間関係を形成していくうえで大切なことである。

児童にとって、おやつは楽しいものであり、関心も深い。しかし、おやつの取り方の実態をみると、あめ、ガム、スナック菓子、アイスクリーム、清涼飲料水等が多く糖分や塩分の多量摂取がうかがわれる。また一人で自由に食べている者も多く、栄養や楽しい団らんの場作りへの関心は薄い。

指導にあたっては、日常何気なく食べているおやつを見直させ、おやつの取り方、選び方とその役目について理解させるとともに、家族や友人との団らんをもつときにおやつは楽しい雰囲気や心を和ませることに気付かせたい。

おやつ作りの計画では、地域の食材に目を向けさせ、食文化や郷土の味に対する理解や関心を持たせたい。

試食会では、互いの作品について調べたことや作品のよさなどを紹介し合う場を設け、相互交流を通して、自他の良さを認め合うと同時に、今後の実践に役立たせたい。

6.題材の目標

おやつの役目を調べ、簡単なおやつの選び方、取り方ができる。

栄養を補うためや団らんを考えたおやつ作りを計画したり、調理実習をしたりすることができ、工夫して家庭での実践ができる。

食べ方やすすめ方を工夫し、団らんの場を楽しくすることができるようにする。



7.指導計画

全 11時間

| | | | |
|-----|--------------------------|-------|--------|
| 第一次 | おやつを選び方と取り方 | ----- | 5 時間 |
| | ・ おやつについて調べる。「生活ウォッチング」 | ----- | (1) |
| | ・ 調べたことをまとめる。「おやつのなかまわけ」 | ----- | (2) |
| | ・ じゃぶなおやつの選び方、取り方をみつけよう。 | ----- | (2) |
| 第二次 | おやつ作りと楽しいひとときの工夫 | ----- | 3 時間 |
| | ・ おやつ作りの計画「地域の名物を調べよう」 | ----- | (1) |
| | ・ レシピを交換しよう | ----- | (1) |
| | ・ おやつ作りと試食会をする。 | ----- | (1) 本時 |

8.本時の目標

ア、互いの地域の料理を作ることができる。

イ、自分の地域の料理についてわかりやすく発表し、楽しく会食することができる。

ウ、会食後、簡単な感想が発表できる。

・ 本時の展開

| | 学習内容 | 学習活動 | 支援と評価の工夫 |
|-------|-------------------------------|---|---------------------------------------|
| とらえる | 1,学習課題の確認 | ・ 本時の学習内容を確認する。 | 意欲的な態度を評価する。 緊張をほぐしなごやかな雰囲気をつくる。 |
| | お互いの地域の料理を作り、自分たちの地域の料理を紹介しよう | | |
| つくる | 2,調理する | ・ レシピに沿って互いの地域の料理を作る。 わからないところは、その都度聞きながらする。 | 食材の準備はあらかじめしておき、作るところからはじめられるようにしておく。 |
| 会食と紹介 | 3,会食をし、料理の紹介をする。 | ・ 会食をしながら、料理の説明をシェア。 | 楽しい雰囲気ではじめられるよう意識づける。 |
| まとめる | 4,感想を発表 | ・ 交流を通して感じたことを発表する。 | みんなにわかるよう、声の大きさに気をつけさせる。 |